

虐待新論

「なかったことにしない」ための援助論

橋本和明 [編]

1 総論

来たるべき虐待論——“abuse”考 (国際医療福祉大学) 橋本和明

2 討議

見過ごしてきたものは何だったか?——史的考察・制度論・当事者運動
(原宿カウンセリングセンター) 信田さよ子+ (NPO 法人リカバリー) 大嶋栄子+ (東京大学) 熊谷晋一郎

3 「なかったことにしない」ための援助論——制度と陥穽

ネグレクトされてきた親と子——虐待の連鎖 (被害者支援都民センター) 新井陽子
虐待を否認する親——相対的剝奪 (チャイルド・リソース・センター) 宮口智恵
能力主義という名の支配——教育虐待 (大正大学) 小堀彩子
「宗教二世問題」の本質——〈疑う自由〉を奪われた子どもたち (さっぽろ悠心の郷) 坂岡大路
支配と操作の心理的虐待——ガスライティング (大阪大学) 野坂祐子
弱者の無力化——ジェンダーに基づく暴力 (京都大学) 西岡真由美
バイスタンダーはどこに?——援助のジレンマ (大東文化大学) 北風菜穂子

4 「不都合な真実」に光を——隔離と分断

不可視化されてきた傷つき——児童施設内虐待 (児童養護施設 鹿深の家) 網島庸祐
複合した差別の果てに——障害者施設内虐待 (鉄道弘済会理事) 高橋 潔
社会的入院とその彼方——精神科病院内虐待 (札幌学院大学) 小林 茂
抑圧移譲をせきとめる——刑事施設内虐待 (熊本大学) 矢原隆行

5 「名もなき虐待」を見つめて——差別と烙印

漂流する家族——重大児童虐待事件 (四国こどもとおとなの医療センター) 木下あゆみ
人を追い回しコントロールする行為依存——ストーカー事件 (法政大学) 越智啓太
転倒した倫理——相模原障害者施設殺傷事件/滝山病院事件 (つくばダイアログハウス) 斎藤 環

連載

「スクールカウンセラーのはじめかた」 (兵庫教育大学) 上田勝久

リレー連載

「臨床心理学・最新研究レポート シーズン 3」 (筑波大学) 安 婷婷
「主題と変奏——臨床便り」 (家族のための ADR センター) 小泉道子
「著者との対話」 (京都大学) 松本卓也+ (こども・思春期メンタルクリニック) 山崎孝明

書評

永田雅子=編著『周産期医療と“こころ”の支援』(誠信書房) (田園調布学園大学) 黒田美保
元永拓郎『心理職のコンピテンシーとは何か』(誠信書房) (中央大学) 中村菜々子
小堀 修『就職活動のためのメンタルトレーニング』(遠見書房) (愛知みずほ大学) 金井篤子
門本 泉『臨床犯罪心理学』(金剛出版) (国際医療福祉大学) 小島秀吾
ジュゼッペ・クラパロほか=編『トラウマと解離の文脈』(金剛出版) (上智大学) 齋藤 梓
塚本千秋『思春期青年期の臨床・学校』(金剛出版) (同志社大学) 中村有吾